

NPO 法人よこすかシティガイド協会



6号

黒船



発行：NPO法人よこすかシティガイド協会

発行日：令和4年3月31日

責任者：理事長 篠原 均

編集：会報編集チーム リーダー 玉井幸雄

URL: <http://yokosuka.kankoh-guide.com/>

近況報告二件

理事長 篠原 均

一年ほど前に「浦賀レンガドック」を含む工場敷地の一部が、住友重機械工業(株)より横須賀市に寄付されました。その後コロナ禍の合間を縫って市による安全対策工事やガイド育成研修が行われ、秋からは観光会社に限っての一般公開が始まりました。当会も研修に参加しガイド資格を得て、観光会社のお客様のガイドを実施しておりましたが、この四月からは一般の方からの依頼にも直接応じてドックのガイドを行うことといたしました。毎月の第一と第三日曜日の午前中で予約を受け付けて、ドックの底部までのガイドだけでなく、隣接の郷土資料館もご案内いたします。浦賀レンガドックは明治三十二(1899)年に造られてから工場閉鎖される平成十五(2003)年までの約百年間、日本の造船業を支えてきた貴重な産業遺産です。世界でも数少ない貴重なレング積みドライドックの見学ツアーにふるってご参加ください。



浦賀レンガドック

今年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」では、北条義時を中心にした源頼朝の重臣達が描かれています。その中で、横須賀市にゆかりのあるのもちろん三浦一族です。特にこの時代では三浦義澄、義村親子と、さらに頼朝と同世代の和田義盛です。今回、神奈川県観光ウエブサイト「かながわNOW」に県内ゆかりの地を「かながわガイド協議会」で分担して紹介することになりました。当会は、芦名の「浄楽寺」と衣笠の「満昌寺」を担当しました。「浄楽寺」は和田義盛の建てた三浦七阿弥陀堂の一つとされ、貴重な運慶作の阿弥陀三尊と毘沙門天、不動明王が収められており、頼朝と奈良仏師のつなが



満昌寺本堂

りを示しています。「満昌寺」は衣笠合戦で自らを犠牲にして源氏の再興を願った義澄の父三浦義明の菩提を弔うために頼朝が建てたとされ、ここにも貴重な義明の木造座像が収められており、頼朝の三浦一族への深い想いが感じられます。QRコードからサイトをご覧ください。



浄楽寺本堂

■浦賀レンガドックガイドのご紹介

※浦賀のシンボル貴重な煉瓦ドック

令和3年3月26日に住友重機械工業様より浦賀造船所の一部を横須賀市に寄贈していただきました。

現在浦賀レンガドックの見学はガイド付きのみ可能です。当協会は4月より毎月第一日曜日と第三日曜日の午前中にガイドツアーを行う計画です。ホームページに申込み欄を設けました。多数の皆さまの応募をお待ち申し上げます。

※浦賀の産業

16世紀後半ころから浦賀の発展に欠かせないのが干鰯(ほしか、鰯を天日干して油を抜いたもの)です。浦賀の間屋は干鰯を俵に詰めて綿花栽培の肥料として関西地方に出荷することで、その地位を盤石にしました。しかし、次第に江戸の大手店達が商いに進出し衰退していきます。

18世紀前半伊豆下田にあった奉行所が浦賀に移りました。江戸へ出入りする船改めをする「海の関所」船番所を設置し荷・入鉄砲・出女の取締りの体制を整え廻船問屋の105軒ほどの人達が携わりました。同じ廻船問屋でも独自に船を持ち物資の運搬を瀬戸内から東北地方まで商いをしていた人達も廻船問屋と云い明治の始めまで続きました。

19世紀半に米国のペリー艦隊(黒船)が浦賀沖に現れ最初に黒船に乗り折衝にあたるなどの敏腕をふるったのが奉行所与力「中島三郎助」です。

幕府はペリー艦隊が去ったあと即「大船建造禁止令」を解き浦賀奉行所の中島三郎助たちに大船の建造を命じました。8か月後に完成したのが洋式軍艦の「鳳凰丸」です。その後の浦賀は幕府の造船所(干鰯倉庫跡)・屯営(海兵団)・陸軍要塞砲射撃学校・造船所と移り変わり発展しました。

開国のまち浦賀：ペリー艦隊と最初に折衝したのが

浦賀奉行所与力中島三郎助。

開国の地久里浜：米国大統領の国書引渡し之地。

※浦賀レンガドックの建設

浦賀湊は元来造船に適しており近世に於いて江戸湾の要港で船大工等が住んで造船は盛んな所でした。

ペリー来航直後の安政元年(1854)に、「中島三郎助」らにより日本最初の洋式軍艦「鳳凰丸」が建造されました。「中島三郎助」は明治2年(1869)閏4月新政府軍との闘いで箱館の千代ヶ岡陣屋(台場)で恭順を勧められたにも関わらず、二人の息子と共に徳川幕府に殉じました。

明治24年(1891)浦賀の愛宕山(浦賀園)に於いて「中島三郎助」の招魂碑が建碑される式典が有りその折り箱館戦争時幕府の同志である荒井郁之助(初代中央気象台長)が「中島三郎助」のために浦賀に造船所を造ろうと提唱し、列席していた農商務大臣(当時)の榎本武揚・浦賀の豪商たちが賛同して動き始めました。

造船所が建設された場所は干鰯問屋倉庫跡地で、その後屯営(海兵団)、陸軍要塞砲射撃学校と変遷し、明治29年(1896)8月に同射撃学校が大津練兵場に移転したため、明治30年(1897)に設立された浦賀船渠株式会社により買収され、造船所用地となりました。

浦賀レンガドックがある場所は元々山林で、明治30年(1897)4月頃から山林を切崩しながら難事業の末明治32年(1899)11月に竣工し明治33年(1900)1月から事業を開始しました。

平成15年(2003)3月末の閉鎖までの103年間に、船台では1000隻に及ぶ艦船の建造を、ドックでは数々の点検・修理等を行ってきました。

※浦賀レンガドック見学コース

浦賀レンガドック正門入口～浦賀レンガドック内～創業時のフランス積煉瓦塀～浦賀コミセン分館(郷土資料館)見学後解散
(理事 橋 孔平)



**大規模レンガドックは世界で4ヶ所(5基)しか現存しません。
その一つの貴重な浦賀の煉瓦ドックを探検に行きましょう！
詳細は よこすかシティガイド協会 HP、または3ページQR
コードから。**

左の写真は 浦賀煉瓦ドック(2012年撮影)

【賛助会員募集】

よこすかシティガイド協会の活動に理解をお持ちで、当協会を後援していただける個人及び団体の賛助会員を募集しています。
年会費 個人1口3,000円・団体1口5,000円 詳細は電話090-6527-9684(理事長 篠原 均)まで

2022 年度前半のガイドツアー予定

☆印はシリーズです

No.	部会名	コース名	シリーズ	開催日	申込締切日	集合場所／解散場所
2022-1	本部	鎌倉殿13人義澄の史跡巡り	☆	4/8(金)	4/1(金)	衣笠城址バス停／岩戸バス停
2022-2	浦賀	江戸東京湾口の海防地帯を歩く		4/14(木)	4/7(木)	(京急線)浦賀駅 / 走水上町バス停
2022-3	追浜	海軍空技廠を巡る海風さんぽ		4/16(土)	4/8(金)	(京急線)追浜駅／(京急線)金沢八景駅
2022-4	西海岸	ツツジの丘から東漸寺涅槃図		4/19(火)	4/12(火)	JR 衣笠駅 / 南武入口バス停
2022-5	観音崎	龍馬の妻お龍の横須賀時代		4/23(土)	4/15(金)	京急大津駅／(京急線)横須賀中央駅
2022-6	追浜	浦郷の三浦三十三観音を巡る		5/10(火)	4/20(水)※	京急田浦駅／(京急線)追浜駅
2022-7	浦賀	初夏の渚と満開のポピー畑		5/13(金)	5/5(木)	(京急線)YRP野比駅／久里浜花の国 ポピー畑
2022-8	観音崎	北斎ゆかりの古道を歩く		5/14(土)	5/6(金)	(京急線)北久里浜駅 / 燈明堂入口バス停
2021-32	西海岸	鎌倉殿の13人 義盛 VS 義時	☆	5/19(木)	5/12(木)	JR鎌倉駅西口広場 / JR鎌倉駅西口
2022-10	衣笠	小網代の森から道寸まつりへ		5/22(日)	5/13(金)	(京急線)三崎口駅 / 荒井浜海岸
2022-11	衣笠	福寿寺から三浦義村を偲ぶ	☆	6/10(金)	6/3(金)	(京急線)三浦海岸駅/岩浦バス停
2022-12	西海岸	奥葉山の棚田から新善光寺へ		6/13(月)	6/6(月)	JR 衣笠駅 / 滝の坂バス停
2022-13	浦賀	三浦一族水軍の基地怒田城へ		6/18(土)	6/9(木)	(京急線)久里浜駅 / (京急線)浦賀駅
2022-14	追浜	江戸の食・魚を運んだ魚荷道		6/19(日)	6/10(金)	(京急線)逗子・葉山駅 / 榎戸バス停
2022-15	観音崎	観音崎の紫陽花と浦賀水道		6/23(木)	6/16(木)	(京急線)馬堀海岸駅/観音崎バス停
2022-16	観音崎	陣屋を偲ぶ大津ぶらり旅		7/8(金)	7/1(金)	京急大津駅/京急大津駅
2022-17	衣笠	名勝森戸海岸から逗子へ		9/17(土)	9/9(金)	滝の坂バス停/JR逗子駅(京急線・逗子・葉山駅)
2022-18	追浜	関東大震災の慰霊碑を訪ねて		9/29(木)	9/22(木)	準備中

申込み方法や受付締切日については協会ホームページをご覧ください。なお、コロナの感染状況によってはツアーの中止もございます。

「よこすかシティガイド協会」ホームページ <http://yokosuka.kankoh-guide.com/>

NPO 法人 よこすかシティガイド協会 専任ガイドがご案内します

貝山地下壕 : 日本海軍航空発祥の地

浦賀レンガドック : 近代化産業遺産



貝山地下壕ツアー QRコード



浦賀ドックツアー QRコード

貝山地下壕ガイドツアーのご案内

【開催日】 毎月第2土曜日,第4土曜日

【申込締切日】 開催日の2週間前金曜日

(締切日が祝日の場合は前日)

浦賀ドックツアーのご案内

【開催日】 毎月第1日曜日,第3日曜日

【申込締切日】 開催日の2週前月曜日

申込はQRコードまたは当協会HPから

トピックス

地区部会紹介(西海岸)

富澤 武夫

当部会は地区部会としては一番遅く発足しました。名前のとおり秋谷、武、長井など横須賀市の西海岸側をメインの担当エリアとしていますが、東海岸の北下浦地区でも、観光資源発掘コース開発を精力的に行ってきました。また近年は、歴史や自然のテーマを追って、三浦、葉山、逗子、鎌倉など近隣地域へも足を延ばし、開発したコースの数は四十を超えています。

それらのコースは、史跡や伝承の奥深さは勿論ですが、どこかで海や富士山を望むことが出来、変化に富んだ海岸線、滝、そして四季おりおりの草花など自然を満喫できるコースともなっています。コース作りにあたっては、勿論安全第一をモットーに行っていますが、時には数漕ぎをしたり、満ち潮で靴を濡らしたりしてルート開拓をすることもあります。しかし、魅力的なコースに仕上がった時の喜びはひとしおです。

浄楽寺の運慶仏を始めとする貴重な文化財や景観の素晴らしさは勿論で

ですが、西海岸地区のもう一つの魅力は美味しいお店が豊富なことです。今はコロナで休止していますが、食事とツアーを組み合わせさせた企画もあり、再開が楽しみです。

今年は大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」に合せて、宿老の一人、三浦一族の和田義盛を採り上げたツアーの他、相模湾沿いに富士と歩くシリーズ企画も予定しています。五十代から七十代後半まで精鋭ガイド十七人が皆様のご参加をお待ちしています。

「三浦半島ままに散歩」

の紹介

「ここはヨコスカ」サイトにパンフが掲載されている「三浦半島ままに散歩」は当協会おすめのウォーキングコースです。横須賀市内の十のエリアの推奨コースを解説付きマップで紹介しています。

QRコードからサイトをご覧ください。



このコースを次号から順にご紹介していきますので、お気に入りを見つけて歩いてみてください。ご希望ならコースをガイドいたします。当会までご連絡ください。

No.	《エリア》とタイトル	コースの紹介
1	《追浜駅周辺》 街中散歩と鷹取山ハイキング	八景島の眺望や深浦の港など変化に富んだ景色を楽しめる街中コースと、逗子の古刹「神武寺」へのハイキングコース
2	《京急田浦駅周辺》 長浦港周辺と十三峠ハイキング	長浦港周辺に残る旧海軍施設などの近代化遺産を巡る街中コースと、田浦梅の里から十三峠を通るハイキングコース
3	《横須賀中央駅周辺》 アメリカを感じる街を歩く	明治期からの軍港としての歴史と米海軍がもたらすアメリカンテイストが混在する「ヨコスカ」を感じるコース
4	《観音崎周辺》 東京湾の展望と走水伝説	東京湾の眺望を楽しみながら、横須賀の東海岸を散策するコースで、観音崎ボードウォークからは、大きな船が間近に
5	《浦賀駅周辺》 開国の街浦賀を歩く	ペリー来航の港町「浦賀」の歴史を訪ねるウォーキングコースで、遠く幕末の頃と変わらぬ海風にふかれて史跡を巡る
6	《京急久里浜駅周辺》 くりはま花の国とペリー上陸の街	くりはま花の国とペリー公園を巡る駅周辺コースと、旧道を通り浦賀に至る健脚コース
7	《YRP野比駅周辺》 下北浦海岸通と里山道	野比海岸に沿って心地よい海風に吹かれながら久里浜まで歩くコースと、のどかな里山道をぬけるコース
8	《京急長沢駅周辺》 丘陵ハイキングと味覚狩り	三浦富士から武山を巡るハイキングコースで東京湾と相模湾の両方の海の眺望を楽しみ、観光農園で四季折々の味覚狩りも
9	《長者ヶ崎から佐島》 おしゃれなコーストと佐島漁港	洒落たお店が点在する横須賀のウエストコーストを歩くコースで、海岸線の自然美を満喫し、生シラスで有名な佐島漁港まで
10	《ソレイユの丘》 緑の高台から景勝の海岸線を歩く	高台に広がる三戸の畑を抜けて、相模湾沿いの海岸線をソレイユの丘まで歩くコースで、足を延ばして長井で地魚のお土産も

【賛助会員募集】

よこすかシティガイド協会の活動に理解をお持ちで、当協会を後援していただける個人及び団体の賛助会員を募集しています。
年会費 個人1口3,000円・団体1口5,000円 詳細は電話 090-6527-9684 (理事長 篠原 均) まで